

令和元年度

府中市立府中第九小学校 授業改善推進プラン

1 授業改善推進プラン作成のねらい

- (1) 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を踏まえ、児童の学力に関する課題、及び教員の指導方法に関する課題を分析し、学習指導要領に基づく総合的な学力向上を図るための方策を策定する。
- (2) 授業改善推進プランを公表することにより、保護者・地域から、学校の授業改善に向けた取組について、一層の理解と協力を得る。

2 府中第九小学校の基本的な考え方

- ① 「全国学力・学習状況調査」や、東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果など、本校児童の実態を踏まえ、指導上の課題（授業改善への課題）を明らかにし、教員一人一人の授業力の向上のための方策に結び付ける。
- ② 学力調査の結果と日々の授業実践での児童の実態を見取り、本校の学力の傾向について児童の現状と課題を分析し、具体的に取り組む内容を精査してプランを作成する。
- ③ 学校経営方針・計画を受けて授業プランを作成する。経営方針・評価との関連は、全体計画の中に位置付けていく。全体計画に基づき、各教科で授業改善の方策を検討する。各教科の具体的な方策の中から重点を定め、教員個々の授業改善を実施していく。
- ④ 授業改善プランは、各学年の児童の実態に沿ったものとするため、授業改善に向けての具体的な方策は、学年の系統性は考慮するが、担任の取組を優先する。

3 プラン作成のための組織

校長

副校長

主幹

教科主任

調整と推進

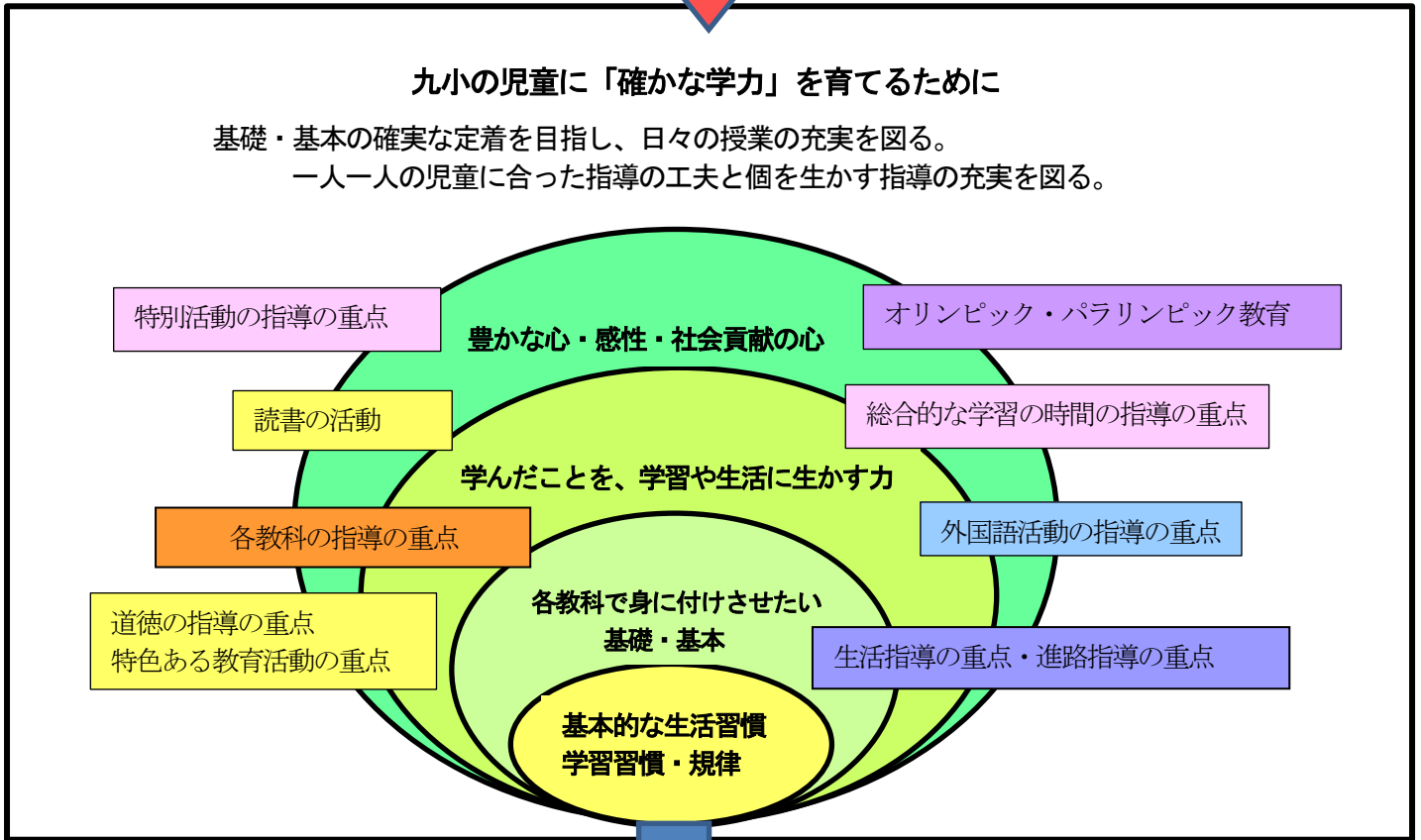
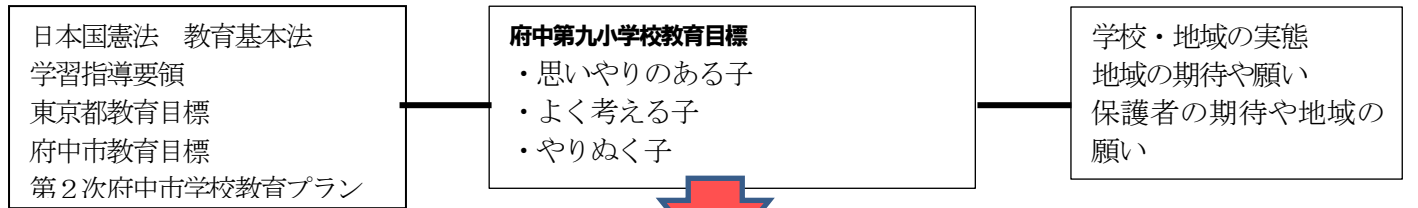
国語：古田島 社会：安岡 算数：高井 理科：毎田 生活：八木

体育：櫻井 音楽：青嶋 図画工作：江川 家庭科：小林（早） 外国語活動：滝井

改善プラン作成 学年・学級

1年	2年	3年	4年	5年	6年
○八木 三澤 一戸	○古田島 福地	○滝井 金澤	○緒方 谷野	○安岡 吉川	○小林（早） 毎田 櫻井

4 授業改善に向けての全体構造



学校経営方針

- 人権尊重の理念を基調とし、心の教育を重視するとともに、確かな学力を付け、社会の変化に対応できる豊かな人間性と社会性をはぐくむ。
- 世界の人々に貢献できる誇りある「府中っ子」を育てる。
- 子供たちを援助する教育＝『勇気付け（後押し）の教育』を推進する。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・「はい・たつ・です」などの学習規律の推進 ・ユニバーサルデザインを取り入れた指導法 ・基礎的・基本的内容の確実な習得 ・知識技能の活用 ・少人数指導、TT指導の指導法の工夫 ・習熟の程度に応じた指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・明確な学習指導計画の作成と授業時数の確保 ・基礎・基本の徹底 ・読書の奨励・朝読書の実施 ・各教科において主体的・対話的学びの視点を取り入れた指導 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己を見つめ、よりよい生き方を考える子の育成～道徳科の授業づくりを通して～」をテーマとし、校内研究の実施 ・児童の実態の把握 ・改善推進プランの作成、修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の分析結果を日々の授業に生かす。 ・各教科観点別評価計画をもとにした学習評価の実施と改善 ・関係者評価と教職員の自己評価とを照らし合わせ授業改善の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開など教育活動の公開 ・学校便り、ホームページなどの広報 ・学校教育支援ボランティア、スクールコミュニティ、学校評議委員会など、教育活動や学校運営への参画 ・学習支援員、合理的配慮支援員の効果的活用